

■ インターネット交流事業の実施

道庁国際課では6月22日（水）、北海商科大学において、北海道と黒竜江省の学生がインターネットを通じて会話をする「インターネット交流事業」を実施しました。

今回、事業に参加いただいたのは、北海商科大学で中国語を学ぶ約20名、そして東北林業大学（黒竜江省）で日本語を学ぶ8名の皆さんです。

当日はまず、北海道側の学生を対象とした「黒竜江省紹介セミナー」を行い、北海道庁の国際交流員である葛 強（かつ・きょう）さんが、黒竜江省の概要や大学生の生活などについて説明しました。

続いて、北海商科大学（札幌市）と東北林業大学（黒竜江省）をインターネットで繋ぎ、交流がスタート。両地域の学生は互いに自己紹介をした後、黒竜江省側の学生からは日本語で「中国語を勉強したきっかけは？」、「北海道で有名な観光スポットを教えてください。」、北海道側の学生からは中国語で「中国で流行しているものは？」、「毎日どのくらい日本語を勉強しているか？」といった会話をし、参加者の皆さんは日頃の学習の成果を活かしながら、交流を楽しみました。



黒竜江省を紹介する葛（かつ）交流員



インターネットで会話を楽しむ両地域の学生
（スクリーンに映るのは黒竜江省の学生）



会話の様子



北海商科大学の参加者の皆さん

北海商科大学の皆さん、東北林業大学の皆さん

事業への参加・ご協力ありがとうございました。